

- SQL*Plus コマンド -

1) SQL*Plus の編集コマンド

SQL*Plus 編集コマンド	説明
A[PPEND] 文字列	行末に文字列を追加する。
C[HANGE] /元の文字列/変更後の文字列	文字列を置換する。(「/」は英数字以外なんでもよい)
C[HANGE] /元の文字列	文字列を削除する
CL[EAR] BUFF[ER]	SQL バッファからすべての行を削除します。
DEL	行を削除する。 .
DEL n	SQL バッファの n 行目を削除。
DEL m n	SQL バッファの m 行目から n 行目を削除。
I[NPUT]	行を挿入します。
I[NPUT] 文字列	文字列で行を挿入する。
L[IST]	SQL バッファ内の全行を表示する。
L[IST] n	SQL バッファ内の n 行目を表示する。
L[IST] m n	SQL バッファ内の m 行目から n 行目を表示する。
R[UN]	バッファ内のコマンドを表示した後、実行する。
/	バッファ内のコマンドを実行する。(表示はしない)
n	N 番目の行を現在行とする。
n 文字列	N 行目を文字列に置換する。
0 文字列	SQL バッファの先頭に文字列の行を挿入する。

2) パターンマッチング文字(ワイルドカード)(LIKE での比較に使用)

マッチング文字	内容
% (パーセント)	0 文字以上の文字列
_ (アンダーバー)	任意の一文字

ワイルドカードを Like 句で文字として使う場合は **ESCAPE** キーワード使用する。

例 ename 列の「_」を含む文字列の検索で、「@」をエスケープ文字として使用

WHERE ename LIKE '%@_%' **ESCAPE** '@'

【置換関数】

構文	内容
DEFINE 置換変数 = 値	変数を定義する
UNDEFINE 置換変数 = 値	変数の定義を取り消す
DEFINE 置換変数	変数の定義を確認する

< 変数に値を入れる方法 >

- 1) DEFINE で定義する。(CHAR 型のみ)
- 2) 定義せずに、SELECT 文などで置換変数を使う。(実行後、値の入力を求められる。)
- 3) ACCEPT 関数を使う。(データ型を入力できる)

ACCEPT 置換変数 データ型 PROMPT '値入力時のコメント'

置換変数は、定義したりするときはそのままで、SELECT 文などで使うときは接頭辞として、「&」を付ける。(デフォルト)

<SQL*Plus の環境 SET コマンド>

変数	デフォルト	内容
ARRAYSIZE 値	15	データベースから一度に取出すデータ行数
AUTOCOMMIT ON OFF	OFF	各 SQL コマンドや PL/SQL ブロックが実行された後、コミットが自動的に実行
BLOCKTERMINATOR 値	.	PL/SQL ブロックを終了する場合に使う。英数字以外の文字
CMDSEP ON OFF	OFF	複数の SQL コマンドを入力する場合の区切文字
COLSEP 値	空白	列と列の間に表示する文字列を指定する
DEFINE 値	&	置換変数の接頭辞を設定する
ECHO ON OFF	OFF	実行コマンドの表示 / 非表示
ESCAPE 値		エスケープ文字を定義する
FEEDBACK ON OFF FEEDBACK n	6	問合せ結果レコードが n 件以上の場合にその数を表示する
HEADING ON OFF	ON	列表示見出し表示 / 非表示
LINESIZE 値	80	1 行の文字数を設定する
LONG 値	80	LONG データの最大表示バイト数
MAXDATA 値	0	SQL*Plus の処理する行の最大幅
NULL 値		SELECT コマンドの実行結果における NULL 値を表すテキストを指定
NUMFORMAT 値		数値表示のデフォルトの書式指定
NUMWIDTH 値	10	数値表示のデフォルトの幅を指定
PAGESIZE 値	14	1 ページ毎の行数を指定
PAUSE ON OFF PAUSE TEXT	OFF	結果表示中に画面を停止する事を指定。 TEXT に表示する文字を入力できる

変数	デフォルト	内容
SPACE 値	1	各行間のスペースを指定
SQLPROMPT 値	SQL>	SQL*Plus のプロンプトを指定
TERMOUT ON OFF	ON	コマンド実行結果の表示 / 非表示指定
TIMING ON OFF	OFF	コマンドのタイミング統計を表示 / 非表示指定
VERIFY ON OFF	ON	置換変数の切り替えを表示するかしないかを設定

上記のコマンドは **SET** の後スペースに続けて打ち実行する。
 現状の設定値を見たい場合は **SHOW** の後に続けて表示する。
 すべての設定値を見る場合は、**SHOW ALL**

<レポート作成機能>

コマンド	内容
COLUMN 列名 オプション	列の見出し、書式を設定
TTITLE 文字列 TTITLE ON OFF	レポートのヘッダーに文字列を設定する。 または、表示するかしないか
BTITLE 文字列 BTITLE ON OFF	レポートのフッターに文字列を設定する。 または、表示するかしないか
BREAK ON 列名1 列別名1 ON 列名2 列別名2 ON ...	重複行の制御および分割
COMPUTE 関数 OF 計算対象列 ON 区切り列	サマリー行を計算し出力

【COLUMN のオプション】

オプション	内容
CLEAR	すべての列の書式を消去
FORMAT 表示形式	列データの表示を変更します。
HEADING 文字列	列見出しを設定します。
NOPRINT	列を隠します
NULL 文字列	NULL 時に表示するテキストを設定する。
PRINT	指定した列を表示します。

注意

- ・ **TTITLE** や **BTITLE**、**BRAKE** などは、他にいろいろオプションを付けることができる。(黒本 P199 ~ P202)
- ・ **TTITLE** で複数行に分ける場合は、「 | 」で区切る
- ・ **COMPUTE** の区切り列は、**BRAKE** で指定した列でなければならない。
- ・ コマンドの記述順序はない。
- ・ コマンドは 1 行で記述する。
複数行になる場合は、行末に「_」をつける。
- ・ **TTITLE** や **BTITLE** を取り消す場合は、**TTITLE OFF**。
- ・ **COLUMN**、**COMPUTE**、**BRAKE** は **CLEAR コマンド**を使う。(CLARE COLUMN)